【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2004-527853(P2004-527853A)
【公表日】平成16年9月9日(2004.9.9)
【年通号数】公開・登録公報2004-035
【出願番号】特願2002-590068(P2002-590068)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/041　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/03　３１０Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月8日(2008.5.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体と、キャップと、始動デバイスとを有する電子ペンにおいて、
前記始動デバイスが、前記本体上に前記キャップが存在するか不在であるかを感知するセンサーユニットを備え、前記本体から前記キャップが取り外されたことに反応して前記電子ペンを起動するように動作可能である、ことを特徴とする電子ペン。
【請求項２】
本体と、キャップと、始動デバイスとを有する電子ペンにおいて、
前記始動デバイスが、前記本体上に前記キャップが存在するか不在であるかを感知するセンサーユニットを備え、前記本体に前記キャップが置かれたことに反応して前記電子ペンを起動解除するように動作可能である、ことを特徴とする電子ペン。
【請求項３】
本体と、前記本体の前端部を保護する機能を有するキャップと、始動デバイスとを有する電子ペンにおいて、
前記始動デバイスが、前記本体の前記前端部とは別の前記本体のある部分上に前記キャップが存在するか不在であるかを感知するセンサーユニットを備え、前記本体の前端部とは別の前記部分上に前記キャップが置かれたことに反応して前記電子ペンを起動するように動作可能である、ことを特徴とする電子ペン。
【請求項４】
前記前端部とは別の前記部分が、前記前端部の反対側の部分である、請求項３に記載の電子ペン。
【請求項５】
前記センサーユニットが機械式スイッチを備える、請求項１～４のいずれかに記載の電子ペン。
【請求項６】
前記センサーユニットが電気式スイッチを備える、請求項１～４のいずれかに記載の電子ペン。
【請求項７】
前記センサーユニットが無接触で動作可能である、請求項１～４のいずれかに記載の電子ペン。

【請求項８】
前記センサーユニットが運動センサーを備える、請求項７に記載の電子ペン。
【請求項９】
前記センサーユニットが光センサーを備える、請求項７に記載の電子ペン。
【請求項１０】
前記光センサーがソリッドステート撮像デバイスである、請求項９に記載の電子ペン。
【請求項１１】
前記ソリッドステート撮像デバイスが、前記電子ペンの動作中に情報を登録するために使用可能である、請求項１０に記載の電子ペン。
【請求項１２】
前記センサーユニットが、圧力センサーをさらに備える、請求項９に記載の電子ペン。
【請求項１３】
前記電子ペンが書き込み用具をさらに備え、
前記キャップは、前記電子ペンが使用されていないときに前記書き込み用具を保護するために、前記書き込み用具を覆うように構成され、
前記圧力センサーは、前記書き込み用具が書き込み表面に対していつ押圧されたのかを感知するために使用可能である、請求項１２に記載の電子ペン。
【請求項１４】
前記センサーユニットが磁場の変化を利用して、前記キャップが前記本体上に存在するか不在であるかを検出する、請求項７に記載の電子ペン。
【請求項１５】
前記センサーユニットがリードスイッチを備える、請求項１４に記載の電子ペン。
【請求項１６】
前記リードスイッチが前記本体中に配置され、磁石が前記キャップ内に配置される、請求項１５に記載の電子ペン。
【請求項１７】
前記磁石が前記キャップ上のクリップの下方に配置される、請求項１６に記載の電子ペン。
【請求項１８】
前記センサーユニットがホール素子を備える、請求項１４に記載の電子ペン。
【請求項１９】
前記ホール素子が前記本体中に配置され、磁石が前記キャップ内に配置される、請求項１８に記載の電子ペン。
【請求項２０】
前記磁石が前記キャップ上のクリップの下方に配置される、請求項１９に記載の電子ペン。
【請求項２１】
磁場コンセントレータが、前記ホール素子の近隣に配置される、請求項１８に記載の電子ペン。
【請求項２２】
磁石が、前記ホール素子の近隣に配置される、請求項１８に記載の電子ペン。
【請求項２３】
前記センサーユニットが振動センサーを備える、請求項７に記載の電子ペン。
【請求項２４】
本体とキャップとを有する電子ペンを起動する方法において、
前記方法が、
前記キャップを前記本体から外すステップと、
前記キャップの不在を検出するステップと、
前記電子ペンを起動するステップと、
を含む、ことを特徴とする方法。

【請求項２５】
前記キャップの不在を検出するステップが、磁場の変化を判定するステップを含む、請求項２４に記載の方法。
【請求項２６】
本体とキャップとを有する電子ペンを起動解除する方法において、
前記方法が、
前記キャップを前記本体に置くステップと、
前記キャップの存在を検出するステップと、
前記電子ペンを起動解除するステップと、
を含む、ことを特徴とする方法。
【請求項２７】
前記キャップの存在を検出するステップが、磁場の変化を判定するステップを含む、請求項２６に記載の方法。
【請求項２８】
本体とキャップとを有する電子ペンを起動する方法において、
前記本体が前端部を有しており、
前記方法が、
前記キャップを、前記前端部とは別の前記本体のある部分上に置くステップと、
前記キャップの存在を検出するステップと、
前記電子ペンを起動するステップと、
を含む、ことを特徴とする方法。
【請求項２９】
前記キャップの存在を検出するステップが、磁場の変化を判定するステップを含む、請求項２８に記載の方法。